

医師会学術講演会

平成26年4月10日（木）19：15～（本講演は19：30～）

所沢パークホテル

座長 矢島整形外科 院長 矢島 秀世 先生

講師 防衛医科大学校病院 整形外科 講師 吉原 愛雄 先生

「Primary care における骨粗鬆症」～レントゲン診断と治療体系～

抄録

骨粗鬆症は近年急速に患者数の増えてきた疾患の一つであり、それと共に、以前は見向きもされなかった「骨」に対する薬の開発がすすめられ、毎年新しい治療薬が保険収載されております。骨折は、骨粗鬆症の随伴症とも言える疾患で、その治療は整形外科医が担っていますが、それ以前の診断、予防は様々な科の先生に委ねられております。2012年、原発性骨粗鬆症の診断基準が **minor change** されましたが、診断の基本は脆弱性骨折にあることから、いずれにおいてもレントゲン診断の位置づけは重要と考えます。整形外科のご専門の先生方には大変恐縮ですが、本講演では、骨粗鬆症の基本的な事項、特に脆弱性骨折のレントゲン診断を中心に概説させていただく予定です。